

太宰府市総合戦略推進委員
筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 准教授

おおにし りょう
大西 良さん



はじめに私が経験したエピソードをご紹介します。
私がスクールカウンセラーとして勤めていた中学校で、ある生徒との出会いがありました。ある日、彼がつぎのようなことを話してくれました。

「先生、ぼくは中学校の3年間、最後までサッカーをしたかった。でもそれはできなかった。中学2年生の時、顧問の先生に『サッカー部の友達との人間関係が嫌で部活を辞めます』と伝えて退部したけど、本当の理由は、家にスパイクと練習着を買うお金がなかったからなんだ。仕事を頑張っているお母さんにこれ以上お金のことで負担をかけたくなかった。誰にも相談できなくて、結局、顧問の先生に嘘をついて辞めたんだ」

現在の日本は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や物価高騰によって経済が大幅に下押しされ厳しい状況にあります。こうした不安定な社会情勢から生じる貧困によって生きづらさを抱き、多くの傷つきを経験しながら暮らしている子どもたちがいます。

まさに今、市民一人ひとりの貧困に対する関心と行動、そして社会のあり方が問われていると思います。

微力ではありますが、私自身も太宰府市の子ども福祉の向上に貢献していきたいと思っています。

特集

- 【表紙関連】
市制施行40周年記念式典開催
..... 2~6
- 福岡県議会議員選挙のお知らせ
..... 11
- 年度末・初めの休日窓口サービス
..... 12~13
- 新型コロナウイルスワクチンの
接種について..... 14
- 太宰府市長寿クラブ連合会の
紹介 15
- 市からのお知らせ..... 16~17
- 連載 18~27
- なんでも情報コーナー
..... 28~35
- 太宰府の文化財 36

市政ニュース

高校生の活躍

みんなの冷蔵庫in太宰府プロジェクト

福岡農業高校3年生の伊東風花さん^{いとうふうか}が、家庭などで余っている食材を持ち寄り必要とする人に自由に持ち帰ってもらう「みんなの冷蔵庫in太宰府」を実施しました。

この取り組みを応援するために市職員から集めた食材などを楠田市長が代表して2月4日(土)、寄贈しました。

伊東さんは以前「子ども・学生未来会議」に参加した縁で、楠田市長にも事前に相談の手紙を送るなど積極的に準備を重ね、県の「高校生チャレンジ応援プロジェクト」の採択・助成を受けてプロジェクトを実現しました。

伊東さんは「このような取り組みが広がり、いずれは冷蔵庫がなくても助け合うのが当たり前の中になってほしい」と話しました。



みんなの冷蔵庫(写真左:伊東さん)へ食材を寄贈する様子

教育・子育ての充実

中学校給食新調理場建設の地鎮祭に参列

本市待望の中学校完全給食実施に向け、1月26日(木)に行われた新調理場建設の地鎮祭に楠田市長が参列しました。厳かな雰囲気の中、建設工事の安全を祈願しました。

本年秋頃には(株)日米クックの新調理場が本市水城に完成、現在稼働している調理場から移転し、来年1月からいよいよ全員喫食の中学校完全給食がスタートします。



地鎮祭の様子

文化財の保護 第69回文化財防火デー

文化財防火デーは、昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損したことから、文化財の防災と愛護意識の高揚を図るため、文化庁・消防庁が昭和30年に制定しました。

本市でもさまざまな取り組みを行っています。コロナ禍で消防演習やパレードは中止しましたが、市庁舎に懸垂幕を、各施設に立看板やポスターを掲示しました。また、消防機関と合同で市内文化財関係施設の立入検査を行いました。

本市には貴重な文化財・文化遺産が数多くあります。引き続き皆さんの理解と協力をよろしくお願いします。



設置した立看板

安心安全のまちづくり 令和5年筑紫野市・太宰府市合同消防出初式開催

本市と筑紫野市合同の消防出初式が1月8日(日)、筑紫野市立筑山中学校で開催されました。本市・筑紫野市の両消防団、筑紫野太宰府消防本部などが参加し、勇壮な分列行進や消防活動の功績と永年の勤続に対する表彰および消防演習などが行われました。



出初式の全景

関係機関との連携 太宰府天満宮や九州国立博物館と連携

令和の都だざいふならではのスポットとして太宰府天満宮と九州国立博物館は欠かせないものです。新年最初のイベントとして毎年1月25日に同宮で初天神祭が執り行われ、それに合わせて同館特別展が開催されます。

本年も関係機関と連携を緊密にし、住まう人も訪れる人も共に喜びを分かち合えるまちづくりを推進します。



「初天神」と「特別展 加耶」の様子

団体などとの連携 太宰府市商工会と連携

太宰府市商工会は地域の事業者が会員となり、事業や地域の発展のために活動を行う団体です。本年は新春のつどいが3年ぶりに開催され、本市を支える事業者が交流を図りました。

1月18日(水)には創業者交流会を開催し、創業塾参加者など老若男女問わないメンバーによる活発な意見交換が行われました。

創業塾には本市の補助金が活用されており、新設した女性向け補助金により女性参加者も確実に増えています。

今後も商工会との連携を更に強め、あらゆる人に居場所と出番のある令和の都だざいふらしいまちづくりを進めます。



創業塾参加者などによる交流会の様子

文化財の保存活用・景観まちづくり

景観・市民遺産フェスタ2023開催



2月4日(土)に太宰府天満宮の余香殿で、太宰府の景観と市民遺産を楽しむイベントとして、だざいふ景観・市民遺産フェスタ2023を開催しました。

新認定の太宰府市民遺産「竹の曲」(育成団体:「竹の曲」保存会)

「竹の曲」保存会から提案され、景観・市民遺産会議委員の採決の結果、太宰府市民遺産第17号に認定されました。「竹の曲」は太宰府天満宮神幸式で奉納される中世から続く民俗芸能です。



「竹の曲」保存会による提案の様子



市民遺産認定採決の様子



太宰府市民遺産こども絵画コンテスト表彰式

市内の小学4年生～6年生を対象に太宰府市民遺産の絵画作品を募集し、298点の応募がありました。その中から入選した12点の作品に対し、表彰を行いました。



こども絵画コンテスト表彰式の様子



こども絵画コンテスト受賞者の皆さん

入賞作品・入賞者は広報だざいふ1月号で紹介しています。Web広報(ページID: 26245)でも公開しています。

第7回だざいふ景観賞表彰式

第7回だざいふ景観賞の表彰を行いました。だざいふ景観賞は、市内にある良好な景観を募集し、人気投票と太宰府市景観・市民遺産審議会での審査を経て受賞作品を決定しています。

今回初の試みとして、市内の小学生の皆さんを対象に人気投票を行い、最も人気を得た作品は「子どもからみた景観賞」を受賞しています。皆さんの応募、ありがとうございました。

受賞名	受賞作品	所有者・関係団体
だざいふ景観大賞	太宰府天満宮の参道	天満宮参道会
景観賞	宝満宮竈門神社の紅葉	宝満宮竈門神社
市長賞	観世音寺の参道とクス並木	観世音寺
子どもからみた景観賞	九州国立博物館の動く歩道	九州国立博物館

※結果はホームページ(ページID:19703)で公開しています。



だざいふ景観賞受賞者の皆さん

安心安全のまちづくり

「災害時における物資供給に関する協定」締結

災害時に備えてアイリスオーヤマ株式会社おおよまあきひろ（大山晃弘代表取締役社長）と「災害時における物資供給に関する協定」を12月5日(月)、締結しました。

この協定は復旧活動や避難場所などで使用する作業資材や飲食物、日用品などの物資の迅速かつ円滑な供給・調達を目的とするものです。

大規模災害時、行政のみで対応できることには限りがあります。このため、平常時から企業・団体などと協力関係を結び、災害時の速やかな応急対策活動・支援協力体制を構築しています。



協定締結式の様子

市の魅力発信

ラジオ番組「DA・DA・DAZAI FU」出演

元日の生放送出演につき、2月3日～24日の毎週金曜午後12時50分～1時にLOVE FMで放送された「DA・DA・DAZAI FU」に出演しました。

楠田市長がDJ DAIZOとして、DJ TOGGYから出されるモノマネやラップなどのさまざまなお題に答えながら、たっぷりと本市の魅力をPRしました。



ラジオ収録をする様子

まちのトピックス

市民の活躍

令和4年度高齢者福祉功労者に対する県知事表彰などを受賞

この賞は高齢者の福祉増進のため、多年にわたり献身的活動を続ける人に贈られる賞で毎年福岡県が実施しています。本年度は本市から10人が表彰状・感謝状を授与され、1月12日(木)に伝達式を行いました。

楠田市長からは、これまでの活動への感謝と受賞に対するお祝いの言葉が贈られました。



(敬称略)

	区分	氏名	所属
表彰状	老人福祉施設職員	牧平 綾子	社会福祉法人梅香福祉会
		山本 文子	社会福祉法人梅香福祉会
	老人クラブ会長	竹若 久雄	東宝会(東ヶ丘区)
感謝状	老人ホームヘルパー	佐藤 克美	社会福祉法人梅香福祉会
		高嶋由美子	社会福祉法人梅香福祉会
	高齢者相互支援活動員	城戸 健一	湯の谷クラブ(湯の谷区)
		古川美代子	南桜会(桜町区)
		森中 厚子	南桜会(桜町区)
		神 恵美子	五条台千歳会(五条台区)
	中塚 幹二	五条台千歳会(五条台区)	